

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 新得工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	特- (8) のり面点検階段工 のり面点検階段 A、B、C 手摺工 A、B、C 【設計図】位置図・平面図・縦断図・横断図の、平面図旗揚げ寸法と横断図の法面長さを確認しますと、のり面1段の長さが異なっている(2倍程度)と思われます。点検階段及び手摺工の数量について、ご教示願います。	金抜設計書に示す設計数量を正として算出ください。
2	避難連絡坑 CII-K-S 支保パターン ⑦-6【設計図】支保パターン図(8)(16/76)を確認しますと、1サイクル当りの掘進長は1.2mと吹付け・ロックボルト材料表に記載されておりますが、割岩工法を用いているため、⑩-1,2 【参考図】割岩掘削 穿孔パターン図(56/56)では、掘進長は1.0mと0.8mになっております。どちらが正しいと考えればよろしいでしょうか。ご教示願います。	参考図 割岩掘削 穿孔パターン図(56/56)の記載の掘進長が正しい値となります。
3	2-(6) 構造物掘削 特殊部 B 【参考図】ペンケオタソイ川橋(下り線) P-1 橋脚仮設図(1/7)(参考図)の、2段目平面図の2.5段目アンカー部の腹起(H-300)寸法がL=2.5mとなっておりますが、同参考図(6/7)の山留材材料表を確認しますと、腹起(H-300)寸法はL=4.5mだと思われます。図面腹起長さについて、ご教示願います。	参考図 ペンケオタソイ川橋(下り線) P-1 橋脚仮設図(6/7)(参考図)の腹起H-300×300×10×15の寸法はL=4.5mが正となります。

4	<p>2- (6) 構造物掘削 特殊部 B</p> <p>【参考図】 ペンケオタソイ川橋（下り線）P-1 橋脚仮設図（6/7）（参考図）の、山留材材料表について、同参考図（2, 3/7）の 4・6 段目平面図、5 段目平面図を確認しますと、高強度腹起に接続する腹起（H-400）は、1 段使いであるため、それぞれの員数は、24 ではなく 12 になると思われます。腹起（H-400）の材料表数量について、ご教示願います。</p>	<p>参考図 ペンケオタソイ川橋（下り線）P-1 橋脚仮設図（2/7）・（3/7）に記載のとおり 4・5・6 段目にて使用する高強度腹起に接続する腹起し H-400×400×13×21 は それぞれの員数は 12 本となります。</p>																																																																																																																								
5	<p>2- (6) 構造物掘削 特殊部 D</p> <p>【参考図】 ペンケオタソイ川橋（下り線）A-2 橋台仮設図（1/5）（参考図）の、山留材材料表について、同参考図（1, 2/5）の 1～4 段目平面図を確認しますと、1, 2 段目の腹起及び隅火打は、H-300 を使用し、3, 4 段目の腹起は、H-350 を使用し、隅火打は、H-300 の使用となっていると思われます。図面表記部材と寸法から山留材材料表に示しますと、以下の材料表になると思われます。当該図面の山留材材料表について、ご教示願います。</p> <table border="1" data-bbox="353 882 1117 1185"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>断面 (mm)</th> <th>長さ (m)</th> <th>単位重量 (kg/m)</th> <th>一部材当 (kg)</th> <th>員数</th> <th>質量計 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">腹起</td> <td rowspan="3">H-300×300×10×15</td> <td>2.500</td> <td>100.0</td> <td>250.0</td> <td>4</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>6.500</td> <td>100.0</td> <td>650.0</td> <td>2</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>11.500</td> <td>100.0</td> <td>1150.0</td> <td>2</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H-350×350×12×19</td> <td>2.500</td> <td>150.0</td> <td>375.0</td> <td>4</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>16.000</td> <td>150.0</td> <td>2400.0</td> <td>2</td> <td>4,800</td> </tr> <tr> <td>13.500</td> <td>150.0</td> <td>2025.0</td> <td>2</td> <td>4,050</td> </tr> <tr> <td colspan="6">合計</td> <td>14,950</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">隅火打</td> <td rowspan="2">H-300×300×10×15</td> <td>2.000</td> <td>100.0</td> <td>200.0</td> <td>8</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td colspan="5">合計</td> <td>1,600</td> </tr> </tbody> </table>	種別	断面 (mm)	長さ (m)	単位重量 (kg/m)	一部材当 (kg)	員数	質量計 (kg)	腹起	H-300×300×10×15	2.500	100.0	250.0	4	1,000	6.500	100.0	650.0	2	1,300	11.500	100.0	1150.0	2	2,300	H-350×350×12×19	2.500	150.0	375.0	4	1,500	16.000	150.0	2400.0	2	4,800	13.500	150.0	2025.0	2	4,050	合計						14,950	隅火打	H-300×300×10×15	2.000	100.0	200.0	8	1,600	合計					1,600	<p>参考図 ペンケオタソイ川橋（下り線）A-2 橋台仮設図（1/5）（参考図）の山留材材料表の正は以下となります。</p> <p>山留材 材料表</p> <table border="1" data-bbox="1220 707 1971 1050"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>断面 (mm)</th> <th>長さ (m)</th> <th>単位重量 (kg/m)</th> <th>一部材当 (kg)</th> <th>員数</th> <th>質量計 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">腹起</td> <td rowspan="3">H-300X300X10X15</td> <td>2.500</td> <td>100.0</td> <td>250.0</td> <td>4</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>6.500</td> <td>100.0</td> <td>650.0</td> <td>2</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>11.500</td> <td>100.0</td> <td>1150.0</td> <td>2</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H-350X350X12X19</td> <td>2.500</td> <td>150.0</td> <td>375.0</td> <td>4</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>13.800</td> <td>150.0</td> <td>2070.0</td> <td>2</td> <td>4,140</td> </tr> <tr> <td>16.000</td> <td>150.0</td> <td>2400.0</td> <td>2</td> <td>4,800</td> </tr> <tr> <td colspan="5">合計</td> <td></td> <td>15,040</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">隅火打</td> <td rowspan="2">H-300X300X10X15</td> <td>2.000</td> <td>100.0</td> <td>200.0</td> <td>8</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td colspan="5">合計</td> <td>1,600</td> </tr> </tbody> </table>	種別	断面 (mm)	長さ (m)	単位重量 (kg/m)	一部材当 (kg)	員数	質量計 (kg)	腹起	H-300X300X10X15	2.500	100.0	250.0	4	1,000	6.500	100.0	650.0	2	1,300	11.500	100.0	1150.0	2	2,300	H-350X350X12X19	2.500	150.0	375.0	4	1,500	13.800	150.0	2070.0	2	4,140	16.000	150.0	2400.0	2	4,800	合計						15,040	隅火打	H-300X300X10X15	2.000	100.0	200.0	8	1,600	合計					1,600
種別	断面 (mm)	長さ (m)	単位重量 (kg/m)	一部材当 (kg)	員数	質量計 (kg)																																																																																																																				
腹起	H-300×300×10×15	2.500	100.0	250.0	4	1,000																																																																																																																				
		6.500	100.0	650.0	2	1,300																																																																																																																				
		11.500	100.0	1150.0	2	2,300																																																																																																																				
	H-350×350×12×19	2.500	150.0	375.0	4	1,500																																																																																																																				
		16.000	150.0	2400.0	2	4,800																																																																																																																				
		13.500	150.0	2025.0	2	4,050																																																																																																																				
合計						14,950																																																																																																																				
隅火打	H-300×300×10×15	2.000	100.0	200.0	8	1,600																																																																																																																				
		合計					1,600																																																																																																																			
種別	断面 (mm)	長さ (m)	単位重量 (kg/m)	一部材当 (kg)	員数	質量計 (kg)																																																																																																																				
腹起	H-300X300X10X15	2.500	100.0	250.0	4	1,000																																																																																																																				
		6.500	100.0	650.0	2	1,300																																																																																																																				
		11.500	100.0	1150.0	2	2,300																																																																																																																				
	H-350X350X12X19	2.500	150.0	375.0	4	1,500																																																																																																																				
		13.800	150.0	2070.0	2	4,140																																																																																																																				
		16.000	150.0	2400.0	2	4,800																																																																																																																				
合計						15,040																																																																																																																				
隅火打	H-300X300X10X15	2.000	100.0	200.0	8	1,600																																																																																																																				
		合計					1,600																																																																																																																			
6	<p>特- (4) 長尺先受工 打設工 A (L=9.5m) 打設工 B (L=12.5 m)</p> <p>長尺先受工の削孔システムについて、ロストビットタイプでしょうか、それとも、パイロットビット回収タイプでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>御社の施工計画に基づき計上してください。</p>																																																																																																																								

7	<p>⑦-6【設計図】 広内トンネル 支保パターン図(7) ⑩-1,2【参考図】 積算参考図 制御発破計画図(5)</p> <p>広内トンネルの非常駐車帯 CII-B2-L の施工方法について、制御発破（導火管付雷管）による一発破進行長 0.6mでの掘削と考えますが、その際の鏡吹付け、吹付コンクリート、及びロックボルトの施工は、2回発破後にそれぞれの施工を考えているのでしょうか。ご教示願います。</p>	そのとおりです。
---	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------